

生活科における個別最適な学びと協働的な学び

ー第2学年「大きくそだってね」における児童の思いや願いに着目してー



生活科の目標

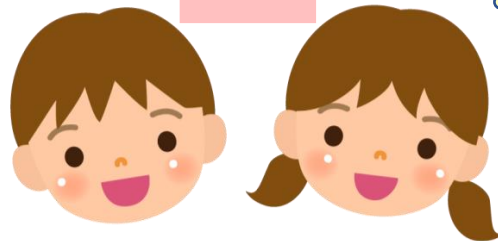
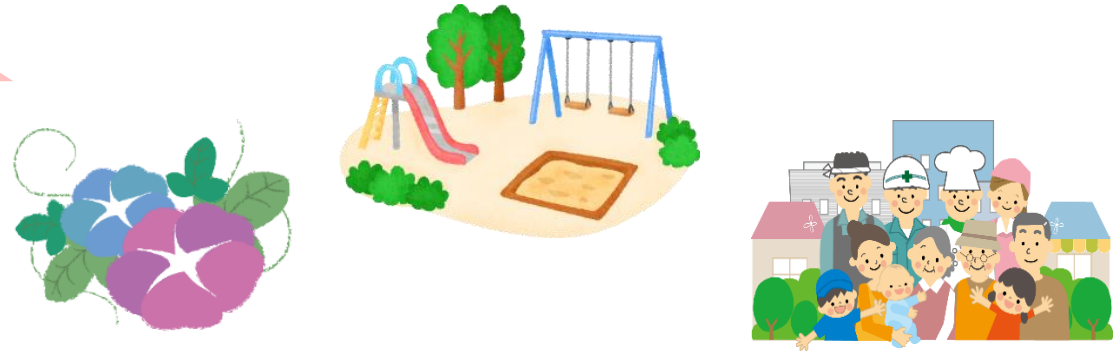
「自立し生活を豊かにしていくための資質・能力」を育む

- ・対象のよさや特徴に**気付く**
- ・自分自身との関係に**気付く**
- ・自分自身のよさや成長に**気付く**

思いや願いの実現

具体的な活動や体験
(対象との関わり)

思い・願い



はじめに

<生活科における個別最適な学びと協働的な学びとは>

○個別最適な学び

→子どもたち一人一人の思いや願いを大切にする。

○協働的な学び

→協働する必然性と、「協働したい」という子ども達の切実感

○個別最適な学びと協働的な学び

→相互に行きかう中で、自己実現を目指す。

→気付きの質を高めたり、学び方を学んだりする。

生活科が
これまで当
たり前のよ
うに大切に
してきたこ
と。

単元について

(1)時期 令和元年5月～8月

(2)学年 第2学年

(3)単元名 「大きくなってね」

(4)単元計画(全27時間)

第1次 そだてたい やさいを きめよう・・・・・・・・・・3時間

第2次 さあ そだてよう・・・・・・・・・・20時間

※収穫：随時 ※家庭での調理：随時

第3次 そだてたやさい こうやって たべたよ・・・・・・・・4時間



単元の実際

第2学年「大きくなってね」

2年生では野菜が育ててみたいな。

うちでも野菜を育てているよ。

私はお父さんのために枝豆をそだてたいな。

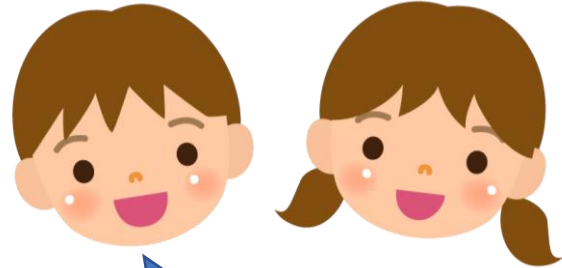
それぞれが好きな野菜をそだてたらいいと思うな。

去年の2年生さんも野菜を育てていたね。

今から植えるならどんな野菜がいいかな？

僕は育てた野菜でカレーを作りたいな。

幼稚園の頃はミニトマトを育てたよ。



単元の実際

第2学年「大きくなってね」



どうやって植えればいいんだろう。

大きく育てるにはどうやってお世話すればいいかなあ。



単元の実際

第2学年「大きくなってね」



今日はどれくらい大きくなっているかなあ？



同じ野菜でも育ち方が違うのはなぜかなあ？

単元の実際

第2学年「大きくなってね」

野菜によって収穫の時期が違うんだね。

〇〇さんの野菜は大きく育っているね。なぜかな？

ぼくの野菜はあまり元気がないなあ・・・。



スーパーに売ってあるミニトマトはもっと赤かったよ。

いつ収穫すればいいのかわからないなあ。

もっと肥料が必要なのかな？

〇〇さんは一日何回、どれくらいの量の水やりをしてるのかな？

単元の実際

第2学年「大きくなってね」



毎日お水をあげているのに，ぼくの野菜はあまり元気がないんだけど…。

お水のやりすぎもよくないんだよ。
太陽の光にあてることも必要だよ。



単元の実際

第2学年「大きくなってね」



ここまで大
きくなったけ
ど，深刻な問
題発生！！

単元の実際

第2学年「大きくなってね」



単元の実際

第2学年「大きくなってね」



単元の実際

第2学年「大きくなってね」



いったい誰のし
わざなんだろう？



単元の実際

第2学年「大きくなってね」



単元の実際

第2学年「大きくなってね」



このままでは、大切な野菜がカラスに食べられてしまう！



カラスから野菜を守る作戦を考えよう！



単元の実際

第2学年「大きくなってね」



私が考
えた作
戦は…。

それぞれの考えをグルー
プで交流しよう。

僕は、野菜の家を作っ
て、野菜を守りたいな。



それは
いい方
法だね。

単元の実際

第2学年「大きくなってね」



私たちは「かかし」を作ってみようかな。



私たちはCDを吊り下げてみようかな。

単元の実際

第2学年「大きくなってね」

野菜にビニル袋や網をかけてみよう。



大きく育った野菜は袋がかけにくいなあ。



単元の実際

第2学年「大きくなってね」

ぼくもかかしを作りたいから一緒にやろう。



ぼくは段ボールで野菜の家を作るよ。



単元の実際

第2学年「大きくなってね」



かかし完成！これで大丈夫かなあ？



ビニル袋に水滴がついているよ。

単元の実際

第2学年「大きくなってね」



どの作戦も工夫して
いて面白いね。

ぼくも野菜の家を作っ
てみようかな。



単元の実際

第2学年「大きくなってね」



もっといい方法はないか、
みんなに相談しようかな…。

確かにカラスに食べられ
なくなりはなったけど…。



＜個別最適な学びと協働的な学びを実現するための教師のスタンス＞

- (1) 普段の生活の中にある「学びの種」を見逃さない。
- (2) 子ども達の思いや願い，やりたいことに，教師が子どもに学んでほしいことを乗せる。
- (3) 個の学びや思い，願い，困り感等を学級全体で共有し，そして個へ返す。
- (4) 失敗からの再チャレンジを大切にする。
- (5) 単元を柔軟に再構成する。

